

napnap ふたご抱っこひも
取扱説明書 / 保証書



◀ ホームページで装着動画をチェック

株式会社 ナップナップ
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 ミノ輪ビル 7 階

☎ **0120-900-720**

napnap フリーダイヤル 受付時間 : 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日を除く)

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

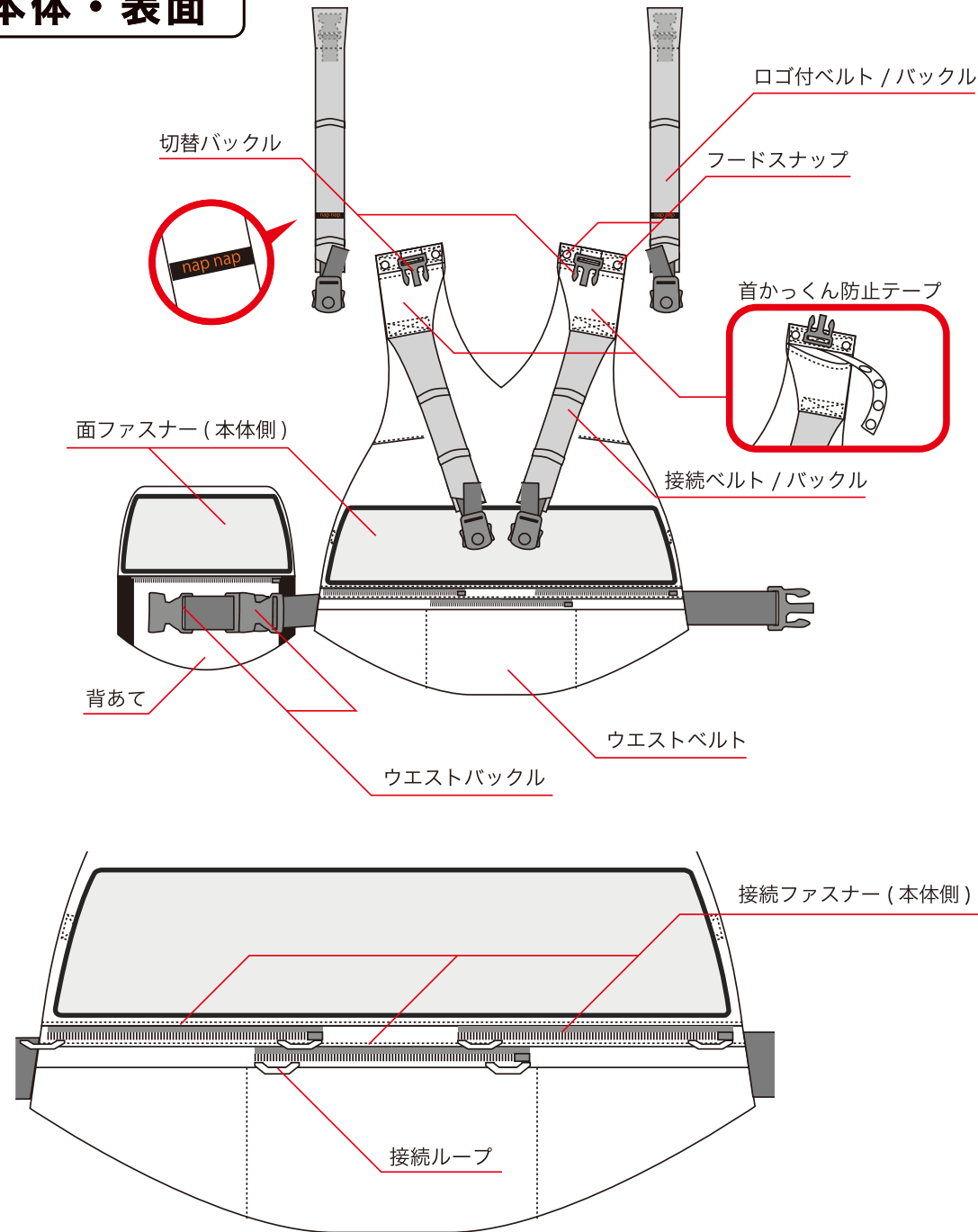
本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。

・メーカー品番 : NBC-011 ・管理番号 : DT-011

●抱っこひも 各部名称

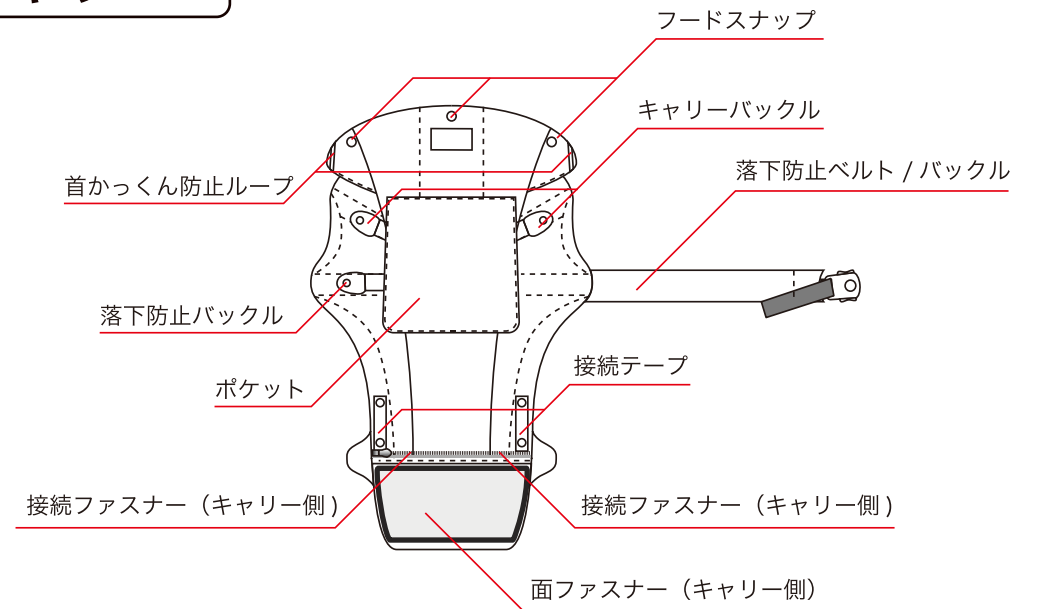
本体・表面



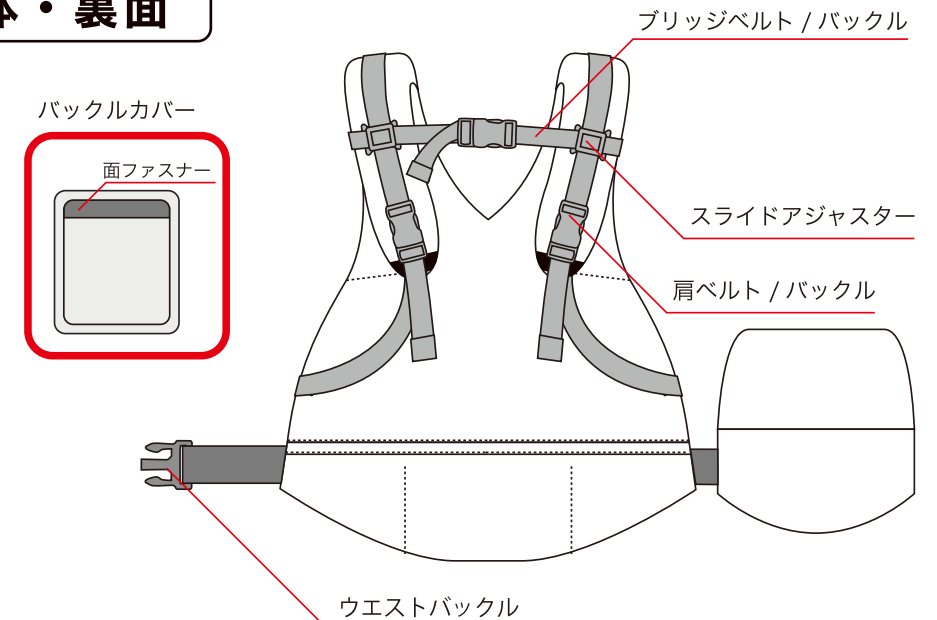
本体とキャリアを接続する際、接続ファスナー・面ファスナーをとめてからキャリア側の接続テープを接続ループに通し、折り返して接続テープのスナップボタンをとめる。

●抱っこひも 各部名称

キャリア



本体・裏面



● ご使用の前に

このたびは当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の際はこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。また、本製品を他の方にお譲りになる際には、必ず本書もあわせてお渡してください。

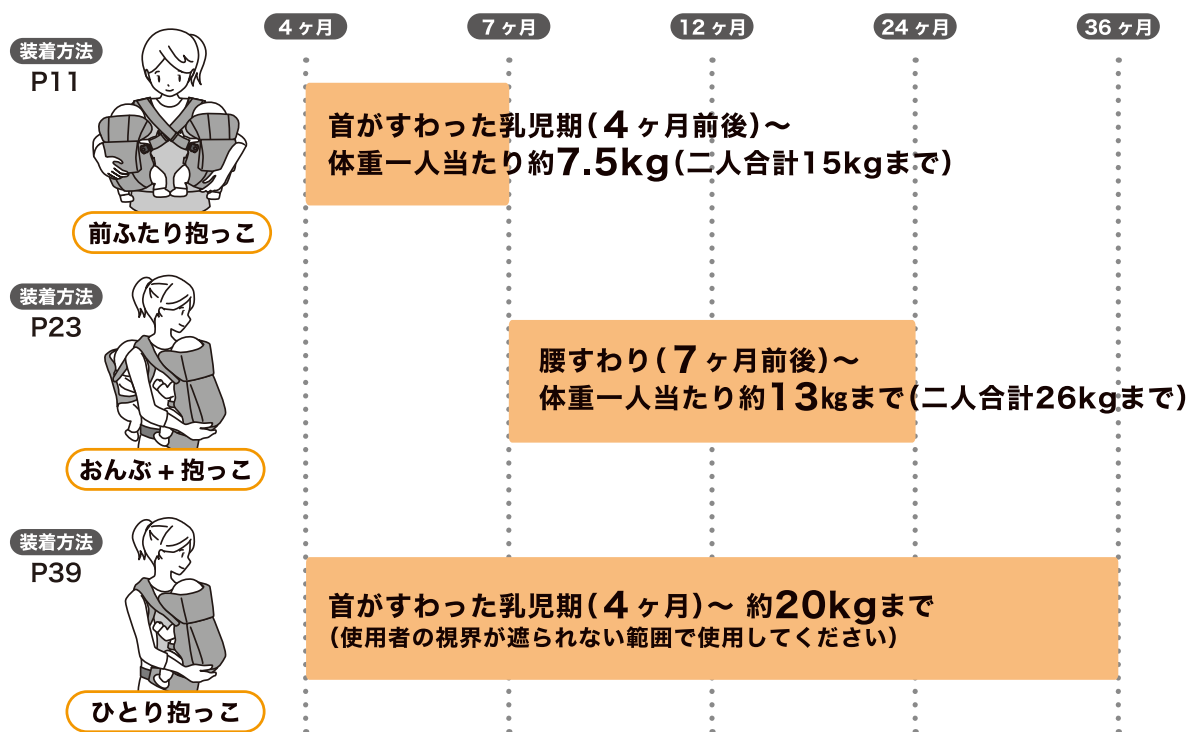
お問い合わせ先

株式会社ナップナップ
東京都荒川区東日暮里1-5-7三ノ輪ビル7階

0120-900-720

受付時間：9:00～18:00（土・日・祝日を除く）

● ご使用時期の目安



- ①前ふたり抱っこ 使用月齢：首すわり(4か月前後)～体重約7.5kg(8か月前後)まで(合計約15kg)
※個人差があるため使用者に無理のない範囲でお使いください。
- ②おんぶ+抱っこ 使用月齢：腰すわり(7か月前後)～体重約13kg(24ヶ月前後)まで(合計約26kg)
※個人差があるため使用者に無理のない範囲でお使いください。
- ③ひとり抱っこ 使用月齢：首すわり(4か月前後)～約20kgまで
※使用者の視界が遮られない範囲で使用してください。

⚠ 注意

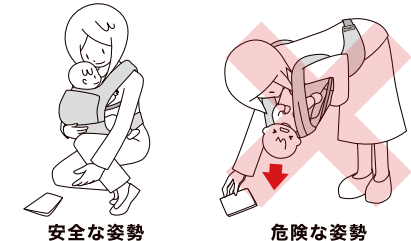
本製品はお子さま一人当たり13kg(合計26kg)まで耐えられるよう強度設計されておりますが、お子さまの重量により使用者様に負担がかかります。十分に休憩を取りながら体に無理のない範囲でご使用ください。また、体に痛みなどを感じた場合は使用を中止してください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、死亡事故につながる恐れがある内容です。

■ 落下の危険性

- お子さまが開口部から落下する恐れがあるため、着脱の際や身体を傾ける場合はお子さまが落下しないよう手で支えてください。しゃがむ時は、お子さまの頭が下向きにならないよう、腰ではなく膝を曲げてください。



- 各部にあるバックルは確実にとめ、ベルト・ストラップの長さをお子さまや使用者に合わせて正しく調節してください。誤った使用方法によりお子さまが落下する恐れがあります。
- 本製品を使用中に、大きく前かがみになったり反ったりしないでください。お子さまが滑り落ちる恐れがあります。
- 装着の際、お子さまの足が抱っこひもの両側からそれぞれ出ているのを確認してください。抱っこひもの片側から両足が出た場合、お子さまが開口部より落下する恐れがあります。
- 本製品を装着後はバックルなどが確実にとめられているか、ベルト・ストラップに緩みがないか、服などをバックルが噛んでいないかを必ず確認してください。特に使用者の背面側にあるバックルはより注意して確認してください。

■ 窒息の危険性

- 本製品をご使用の場合はお子さまを保護者の体に強く縛りつけず、お子さまの頭部に動かせる程度の余裕があるよう装着してください。
- お子さまの状態に注意しながら使用し、気道をふさぐことがないようにしてください。お子さまのあごと胸の間に指2本分の間隔が必要です。
- 授乳後30分の間は本製品を使用しないでください。お子さまのおなかを圧迫することにより、嘔吐・窒息などのおそれがあります。
- 背中側のお子さまの様子は鏡などでしっかりと確認してください。



●安全にお使いいただくために

■使用時の危険性

- 実際にお子さまに使用する前に取扱説明書をよく読み、お子さまのいない状態で着脱の練習をしてからご使用ください。また、実際にお子さまに使用する際、慣れるまで周囲の人に手伝ってもらいながら使用してください。
- 車両（自動車・オートバイ・自転車など）を運転中に使用しないでください。
- 取扱説明書に記載されていないポジションで使用しないでください。
- 取扱説明書に記載されている以外の目的で使用しないでください。破損・故障の原因になります。
- 有機溶剤・酸・アルカリ・アルコール・薬品・熱湯などを製品にかけないでください。変形・変質し、事故につながるおそれがあります。
- 本製品を高温の場所や火の近く、直射日光のあたる場所、屋外等に放置・保管しないでください。バックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損傷が生じる恐れがある内容です。

■着脱の注意

- 本製品を着脱する際は、ベッドやソファなどの安全な場所で、可能な限り低い姿勢で行ってください。また、周囲に人がいる場合は可能な限り手伝ってもらいながら装着してください。おんぶの際は特に注意が必要です。
- 製品にほつれやキズ・破れがあった場合、またはバックルやフックが破損した場合は速やかに使用を中止してください。
- 抱っこで使用する場合は、お子さまの頭部により使用者の前方や足元の視界が妨げられない範囲で装着し、歩行時も十分注意してください。
- 使用中の摩擦・汗などにより、衣服に色が移る可能性があります。
- 製品のストラップ部分等をほどいたり切り落とさないでください。
- 湿った状態、水につけた状態で長時間放置しないでください。

■使用時の注意

- バックルの開口部にお子さまの手や指が入らないよう注意してください。隙間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。製品をご使用にならない時は開口部を作らないよう、必ずバックルをはめ込んで保管してください。
- 連続して使用する際はお子さま、使用者の体調の変化や装着状況を確認しながら使用してください。また、連続して2時間以上の使用はしないでください。
- 使用者の体調がすぐれない、体に痛みを感じている、飲酒および薬類を服用している場合などは使用を控えてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 使用者が痛みや不快感を覚えた場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 家事をしながらの使用は使用者が転倒するおそれがあります。
- 料理中に使用すると使用者やお子さまにやけど等のおそれがあります。
- お子さまが予期せぬ動きをしたり、本製品の中で動くことにより、使用者がバランスをくずす恐れがあります。使用中はお子さまの位置や姿勢の調整ができるよう常に両手が使えるようにしてください。
- 抱っこひもを着用したまま走ったり飛び跳ねたり寝転んだりしないでください。
- 使用中の喫煙や飲食には十分注意してください。やけどの恐れがあります。
- 電車など込み合っている状況で使用する場合はお子さまの状態をしっかりと確認してください。
- 妊娠中は使用しないでください。
- 抱っこひもを着用したままスポーツなどをしないでください。
- 使用中は周りに注意し、お子さまがぶつからないようにしてください。

●安全にお使いいただくために

■使用時の注意

5. おんぶは慎重に

- はじめておんぶをする際はお子さま以外の人形などで練習をするか、第三者に手伝ってもらいながら装着してください。

お子さまをおんぶする際は必ず安全な場所で行ってください。

お子さまが落下して事故につながるおそれがあります。



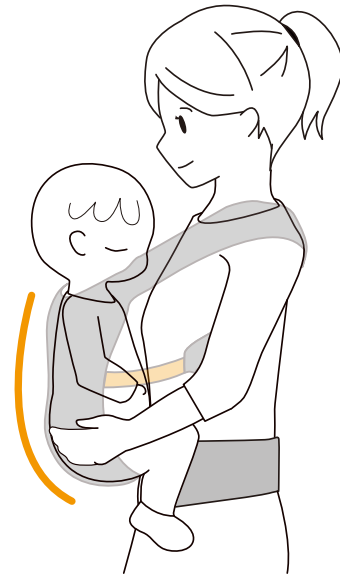
■しっかり調節

1. だっこの姿勢

- 抱っこひもをご使用の際はウエストベルトをしっかりと締めてください。

お子さまの位置は使用者の口がお子さまの額に届く高さが理想的です。

お子さまの背中はやや緩やかな曲線となるよう、各ベルトを調節してください。緩すぎて使用者とお子さまの間に隙間があきすぎたり、締めすぎてお子さまの背中が反ったりしないよう注意してください。



■負担に要注意

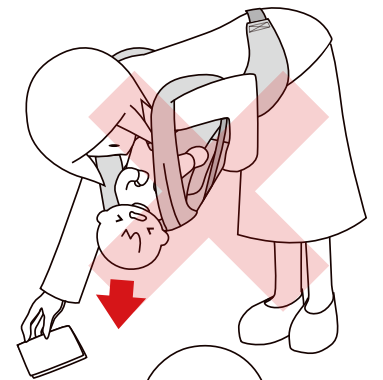
1. 使用者の負担に注意

- ふたご抱っこひもは長時間お子さまを抱っこすることを想定しておりません。お子さまを二人同時に抱っこすることは使用者に思わぬ負担がかかる為、体の不調、痛みなどがあればすぐに使用を中止し、休憩などを取りながら使用してください。

■使用時の注意

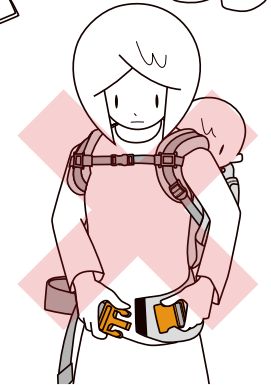
1. しゃがむ時の注意

- 落し物を拾う時や、しゃがみこんだ時などにお子さまが落下するおそれがあります。お子さまが落下しないように手で支え、しゃがむときはひざを折るようにしてください。



2. お子さまをおろす時の注意

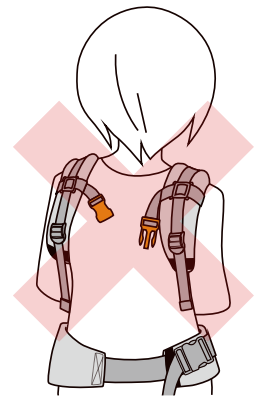
- お子さまをおろす時はおろし方を参考にしながら慎重にバックルを外してください。



3. とめ忘れ注意

- 各種バックルはカチッと音がするまでしっかりととめてご使用ください。

背中側に来るバックルは目で見て確認できないため、バックルをとめた後左右に引っ張って外れないか確認してください。



4. ベルトの調節

- 肩ベルト・ウエストベルト・ブリッジベルトなどが緩んでいると思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用者、お子さまが苦しくない程度にしっかりとベルトを締め、安全にご使用ください。



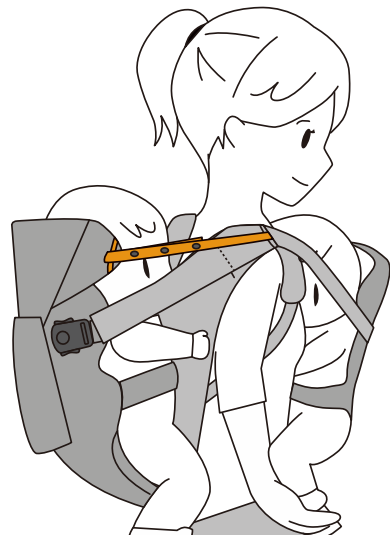
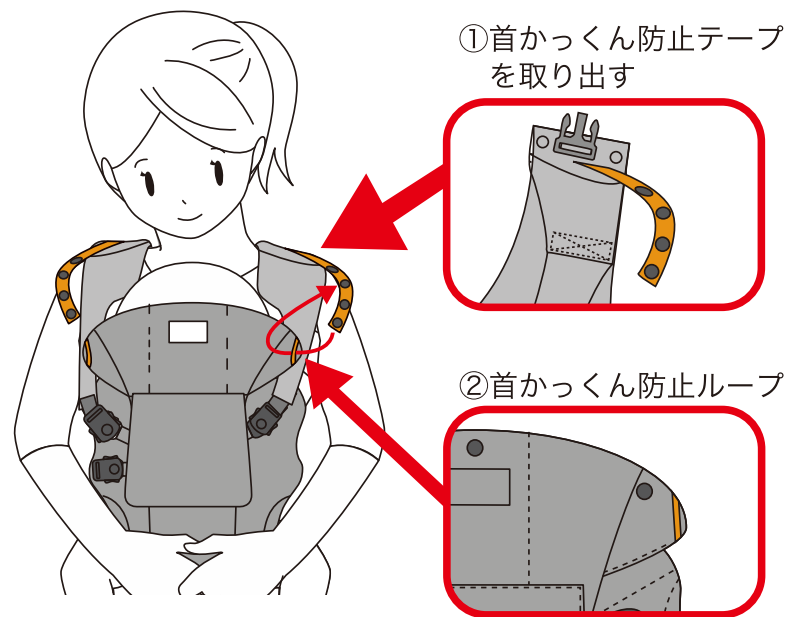
●機能紹介

■首かっくん防止ループ

おんぶの際に首かっくん防止テープを使って頭を支えることができます。

1. 使い方 ※【おんぶ+抱っこ】29Pで使用します。

- ① 切替バックルすぐ下のポケットから首かっくん防止テープを引っ張り出す。
- ② 首かっくん防止ループを通して折り返し、適切な位置でスナップボタンをとめる。



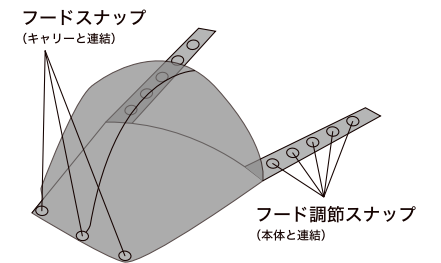
※首かっくん防止機能はおんぶ側のお子さまのみの機能です。前にいるお子さま用は付属していません。

■スリーピングフード

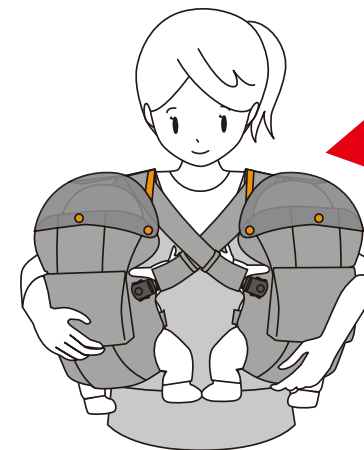
お子さまが眠った時や日よけに使えるスリーピングフードです。

1. 使い方

- ① フードスナップをお子さまが乗っているキャリアに接続する。
- ② フード調節スナップを使用者の肩部分にある本体のフードスナップにとめる。



□前ふたり抱っこの場合



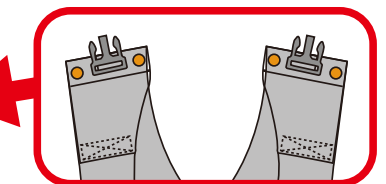
本体肩ベルトにある
フードスナップ

本体肩ベルトのフードスナップは左のお子さまに対し左肩のスナップを右のお子さまに対し右肩のスナップをそれぞれ使用してください。

□おんぶ+抱っこの場合



本体肩ベルトにある
フードスナップ



本体肩ベルトの左肩と右肩のフードスナップを1個ずつ使って前のお子さまのフードをとめ、残りのスナップを使って後ろのお子さまのフードをとめてください。

● 前ふたり抱っこ

使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～体重一人当たり約7.5kg
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）

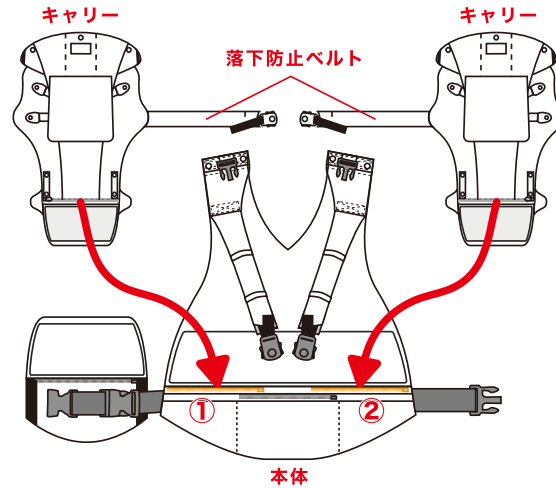
1. 前ふたり抱っこの準備

① 本体を用意する

前ふたり抱っこでは本体の接続ファスナー①と②にそれぞれキャリアを接続する。

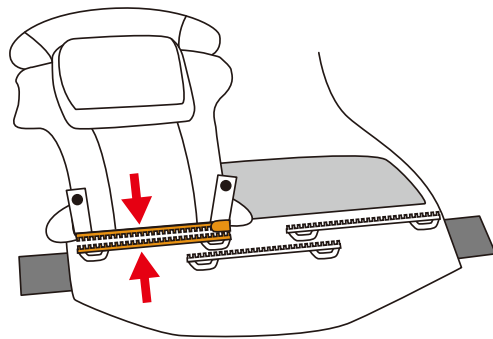
※キャリアの落下防止ベルトが内側に来よう取り付けてください。

キャリアはファスナー・面ファスナー・接続テープの3つを接続することにより固定する。



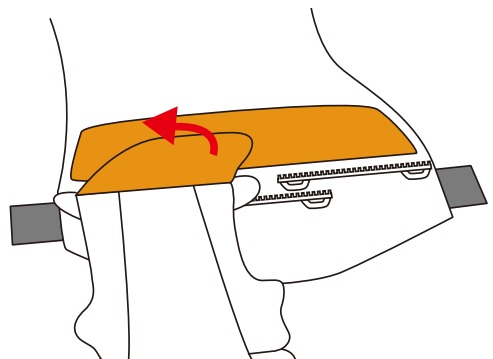
2. ファスナー

① 接続ファスナーをとじ、引手が倒れていることを確認する。



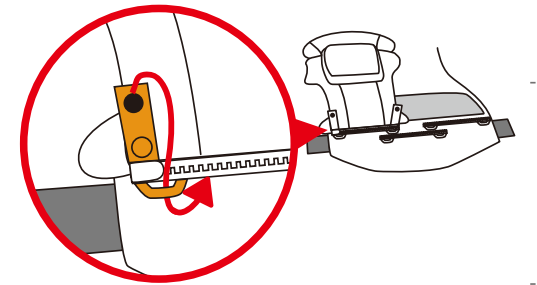
3. 面ファスナー

① 面ファスナーをしっかりと貼り付ける。



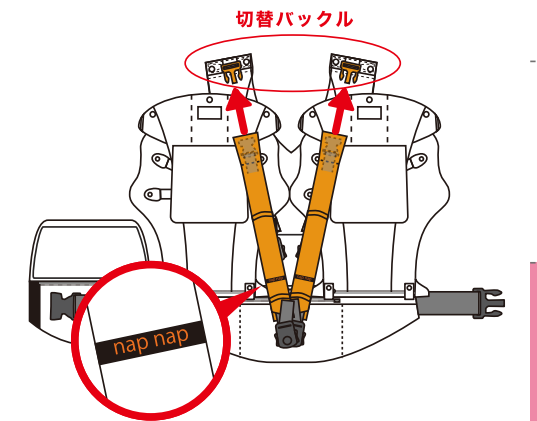
4. 接続テープをとめる

- ① 本体の接続ループにキャリアの接続テープを通す。
- ② 折り返して接続テープのスナップボタンをとめる。
- ③ 反対側のキャリアも同じように取り付ける



5. ログ付ベルトを繋ぐ

- ① ログ付ベルトのログが正面に向くように切替バックルにつなぐ。



6. 本体を装着する

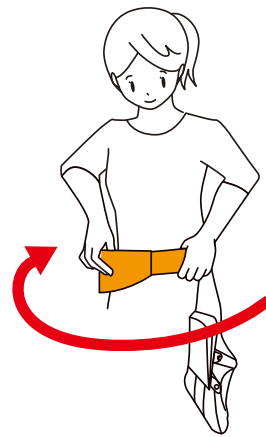
- ① ウエストベルトをウエストに巻きバックルをとめる。
- ② テープを締め、体にフィットするよう調節する。



● 前ふたり抱っこ

7. ウエストベルトをまわす

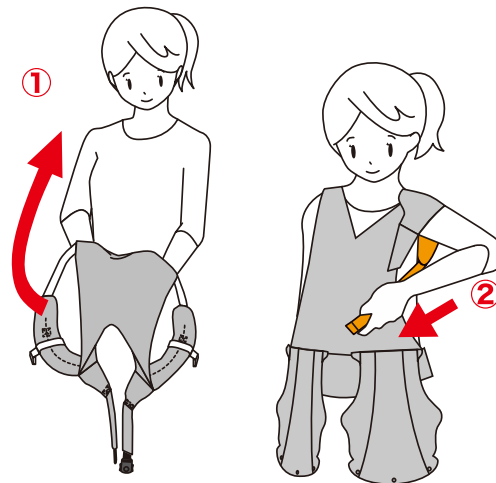
- ① ウエストベルトをまわし本体ベストが前に来るようにする。
- ② ウエストベルトをしっかりと締める。



8. ベストを着る

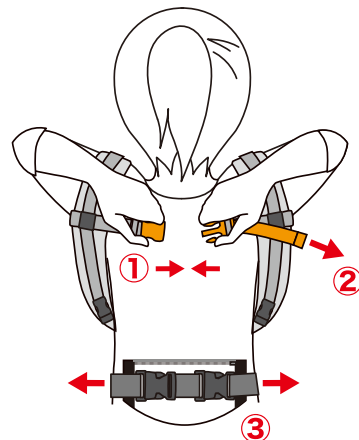
- ① 肩ベルトを肩に通し服を着るように本体を装着する。
- ② ベストが体にフィットするように肩ベルトの長さを調節する

※肩ベルトの縫い目部分が肩の真上に来るぐらいの位置に調節してください。



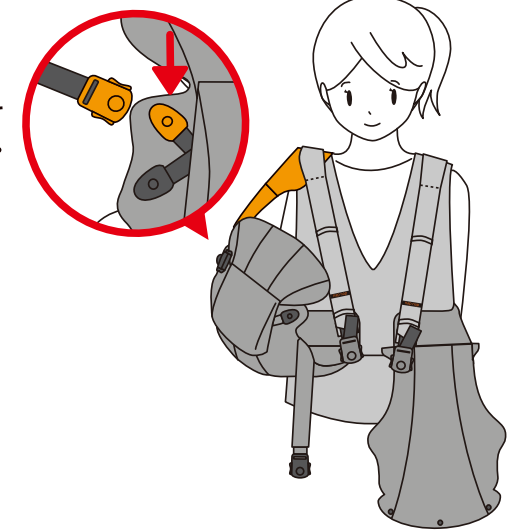
9. ブリッジバックルをとめる

- ① 背中の中でブリッジバックルをとめる。
- ② テープを引き長さを調節する。
- ③ ウエストベルトをもう一度しっかりと締める。



10. 接続バックルをとめる

- ① 本体の右側の接続ベルトについているバックルを右キャリア外側・上部のキャリアバックルへとめる
- ② 左側も同じように左側の接続ベルトについているバックルを左キャリア外側・上部のキャリアバックルへとめる



11. 準備完了

- ① 位置を整えて準備完了

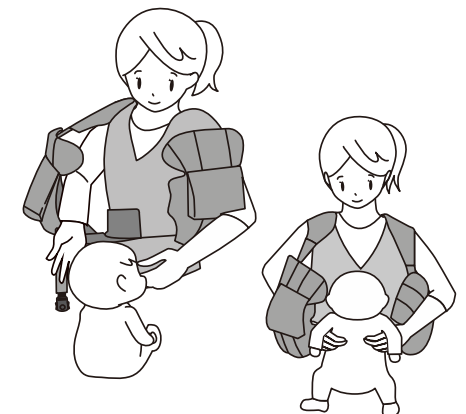
※下記を確認してください。

- ① キャリーの向きを確認する。
(落下防止ベルトが内側に来ている。)
- ② ベルトが正しく接続されているか。
(ロゴ付ベルトが2本フリーになっている)



12. お子さまを抱き上げる

- ① 図のように右手をキャリアの外側から内側に向けて手を通すようにしながらお子さまを抱きかかえに行く



● 前ふたり抱っこ

13. お子さまをキャリアにのせる

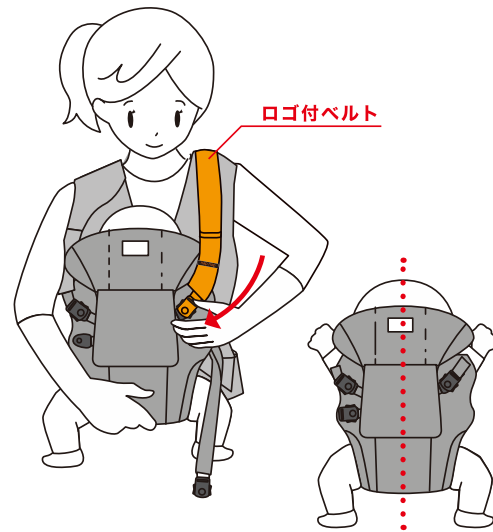
- ① 右手でお子さまの足を外に向けて引き抜くように足を出し、キャリアの中にお子さまの体を入れる。



14. ロゴ付ベルトをとめる

- ① 左肩のロゴ付ベルトを右キャリア図のキャリアバックルへとめる。

この時お子さまがキャリアのセンターに乗るように位置を調整する。



15. ベルトを調節する

- ① お子さまのお尻を持ち上げながらロゴ付ベルトの長さを調節する。

調節し辛いときはカバーをめくりあげ、テープを露出させてから引く。

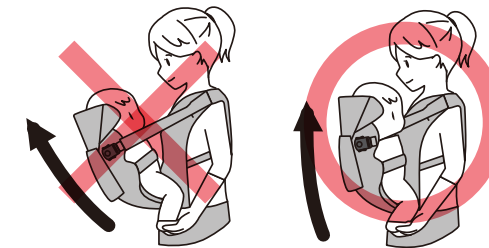


16. ベルトを調節する

- ① お子さまのお尻を持ち上げながら接続ベルト（ロゴ無し）の長さを調節する。

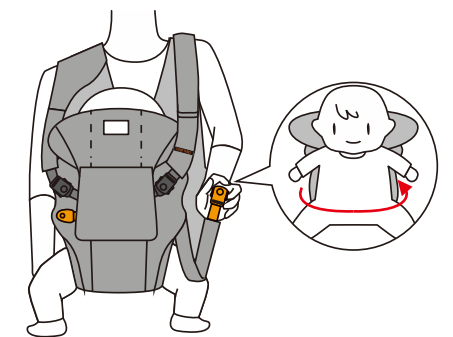
ロゴ付ベルトは締め付けすぎると使用者の肩に負担がかかり過ぎる場合があるので肩の痛みなどを感じた場合適度に緩めると良い。

※図のようにお子さまの体が外にそらないように注意する。



17. 落下防止ベルトを装着する

- ① 落下防止ベルトを手に取り、使用者とお子さまの体を通すようにぐるりと回し落下防止バックルにつなぐ。
- ② 落下防止ベルトの長さを調節する。
- ③ お子さまの腰がキャリアにしっかりと固定されたことを確認する。



18. 一人目の完成

- ① 痛みなどが無いかなど、お子さまの様子などを確認し問題が無ければ一人目の完成。



● 前ふたり抱っこ

19. お子さまをキャリアにのせる

- ① 二人目のお子さまを抱っこする。一人目と同じようにキャリアの外側から内側に腕を通す。



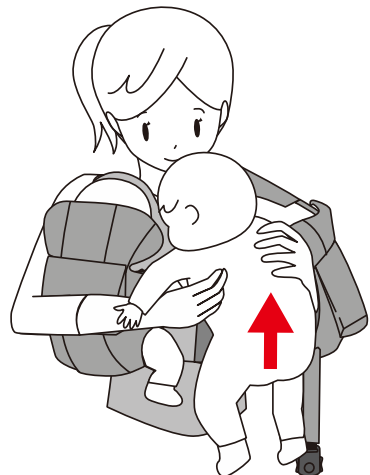
20. お子さまをキャリアにのせる

- ① 一人目と同じようにお子さまの足を外に出すようにしてしっかりとキャリアにお子さまを乗せる。



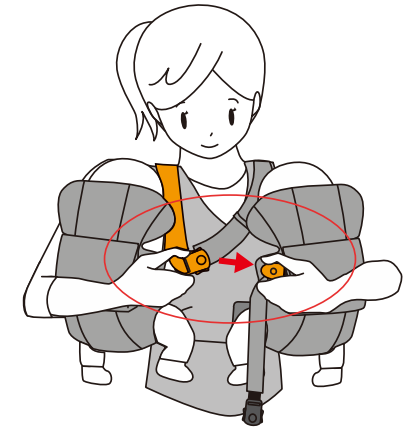
21. もし乗せられない場合は

- ① 一人目のお子さまがいてうまく抱っこできない場合は第三者に手伝ってもらるかソファなどにお子さまを座らせ使用者の体ごと迎えに行くような形にすると比較的乗せやすい。



22. ロゴ付ベルトをとめる

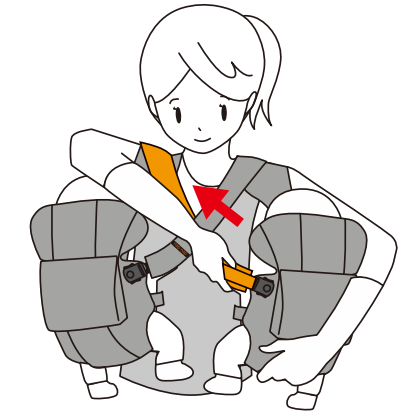
- ① 右肩のロゴ付ベルトを左キャリア図のキャリアバックルへとめる。



23. ロゴ付ベルトの長さを調節する

- ① お子さまのお尻を持ち上げながらロゴ付ベルトのテープを引っ張り長さを調節する。

調節し辛いときはカバーをめくりあげ、テープを露出させてから引く。

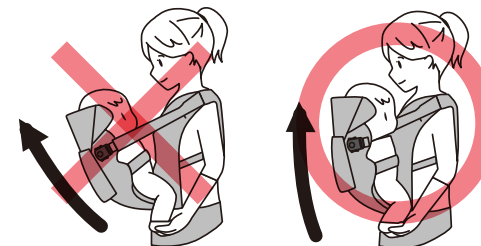


24. 接続ベルトを調節する

- ① お子さまのお尻を持ち上げながら接続ベルト（ロゴ無し）の長さを調節する。

ロゴ付ベルトは締め付けすぎると使用者の方に負担がかかり過ぎる場合があるので肩の痛みなどを感じた場合適度に緩めると良い。

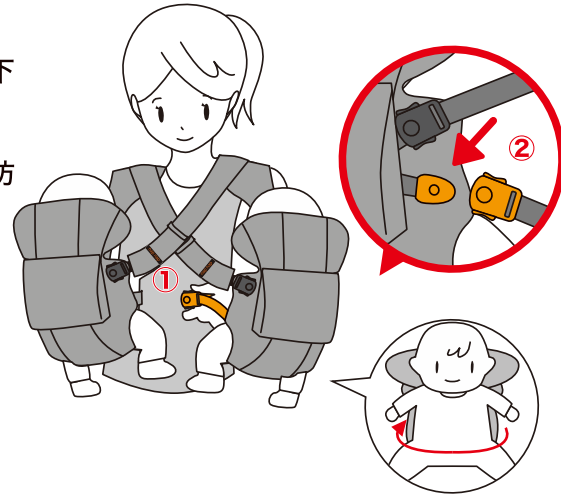
※図のようにお子さまの体が外にそらないように注意する。



● 前ふたり抱っこ

25. 落下防止ベルトをとめる

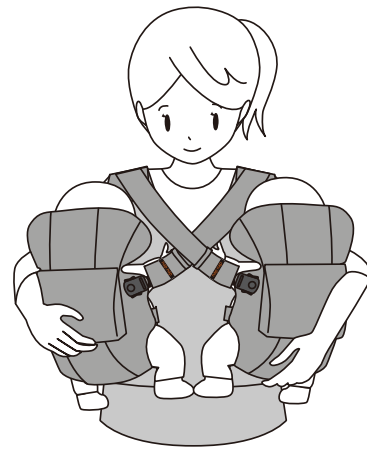
- ① お子さまと使用者の間に手を入れ、落下防止ベルトをつかむ。
- ② 落下防止ベルトをキャリア外側の落下防止バックルへとめる。



26. 確認

- ① お子さまの状態やバックル・テープなどの調節具合を見て問題が無ければ完成。

※ 使用中は急なわけぞりなどで落下する危険性もあるため手を添えて使用してください。

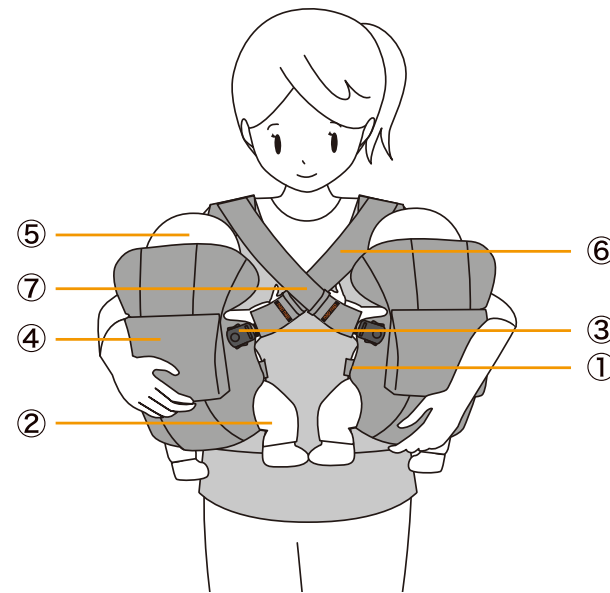


● 前ふたり抱っこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために鏡などに姿を映して状態を確認してください。

チェックポイント

- ① 落下防止ベルトがとまっている
- ② お子さまの両腕・両足が出ている。
- ③ 各部バックルがしっかりととまっている。
※ ひもを引っ張って確認してください。
- ④ お子さまがキャリアの中心に乗っている。
- ⑤ 使用者の口がお子さまの額に届く高さになっている。
- ⑥ テープの長さが適切に調整されている。



⑦ 調節の POINT

中央でクロスしているベルトを締めすぎると肩周り（鎖骨辺り）がいたくなる場合があります。

痛みを感じた場合はロゴ付ベルトを少し緩めてみてください。

外側の接続ベルトをしっかり締めるとお子さまの位置が上がり安定します。

何度か装着を試し、より抱っこしやすい調整具合を確認してください。

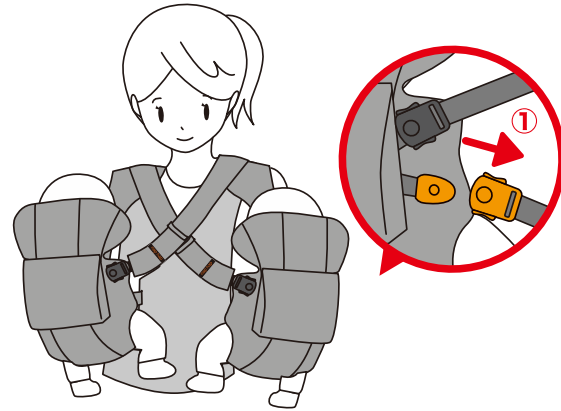
- 使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に授乳期のお母さまは、乳腺を圧迫するおそれがあります。
- 使用者からお子さまの顔が見えないので、定期的にお子さまの様子を確認してください。
- 正しく装着できていない場合はもう一度装着し、調節を行ってください。
- こまめに休憩をはさみながらご使用ください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● 前ふたり抱っこ・おろし方

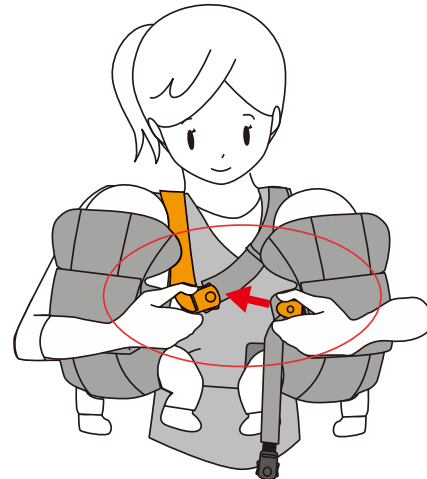
1. 落下防止ベルトはずす

① 左右どちらかの落下防止ベルトを外す。



2. ロゴ付ベルトをはずす

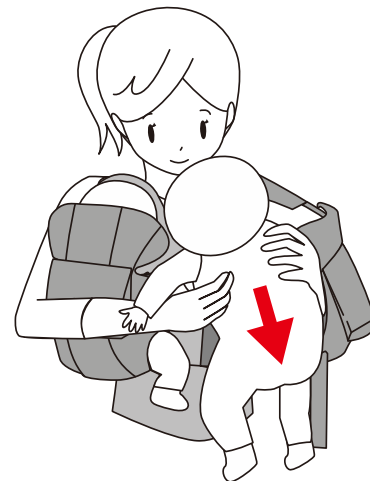
① 落下防止ベルトを外したキャリアのロゴ付ベルトを外す。



3. 一人目のお子さまをおろす

① お子さまを抱きかかえておろす。

おろしづらい場合、抱っこひもを装着したままお子さまをソファに座らせる要領で体重を預け、バックルを外しておろしキャリアを引き抜く。



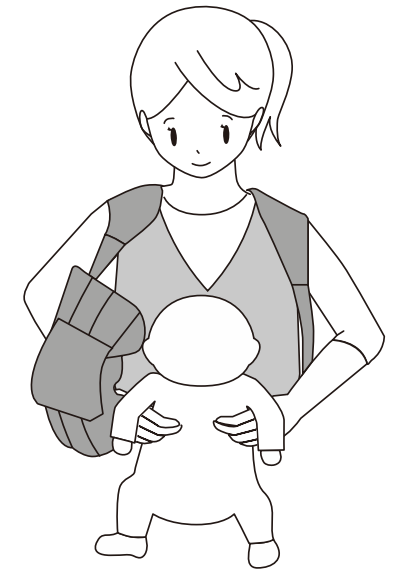
4. 二人目をおろす

① 落下防止ベルトとロゴ付バックルを外す



5. 二人目をおろす

① お子さまを抱きかかえ、おろして完了。



各
部
名
称

は
じ
め
に

警
告

機
能
紹
介

前
ふ
た
り
抱
っ
こ

お
ん
ぶ
+
抱
っ
こ

ひ
と
り
抱
っ
こ

お
手
入
れ
方
法

各
部
名
称

は
じ
め
に

警
告

機
能
紹
介

前
ふ
た
り
抱
っ
こ

お
ん
ぶ
+
抱
っ
こ

ひ
と
り
抱
っ
こ

お
手
入
れ
方
法

● **おんぶ+抱っこ** 使用時期目安：腰がすわった乳児期（約7ヶ月）～体重一人当たり約13kg
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）

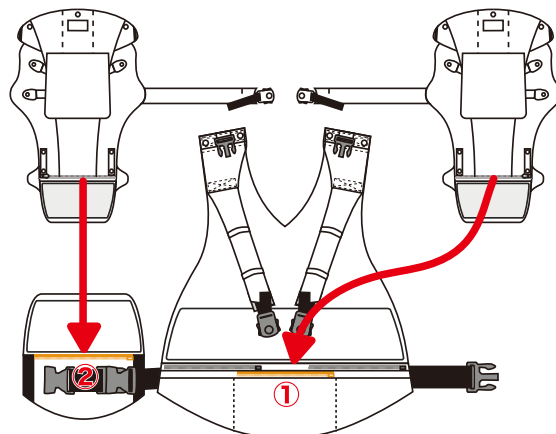
1. おんぶ+抱っこの準備

① 本体を用意する

【おんぶ+抱っこ】では本体の接続ファスナー①と②にそれぞれキャリアを接続する。

※キャリアの左右はどちらを使用しても問題ありません。

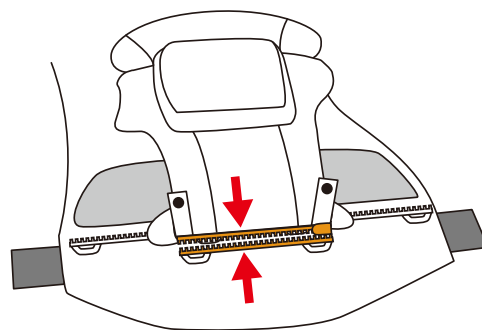
キャリアはファスナー・面ファスナー・接続テープの3つを接続することにより固定する。



2. ファスナー

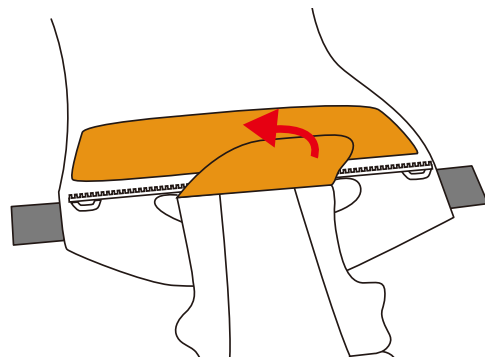
① 接続ファスナーをとじる。

※引手がしっかりと倒れていることを確認してください。



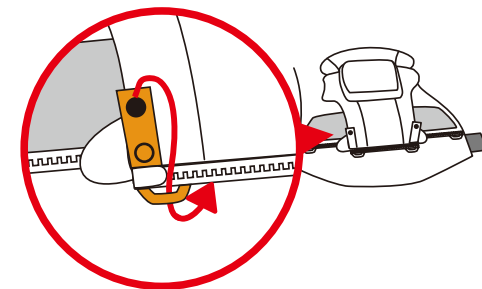
3. 面ファスナー

① 面ファスナーをしっかりと貼り付ける。



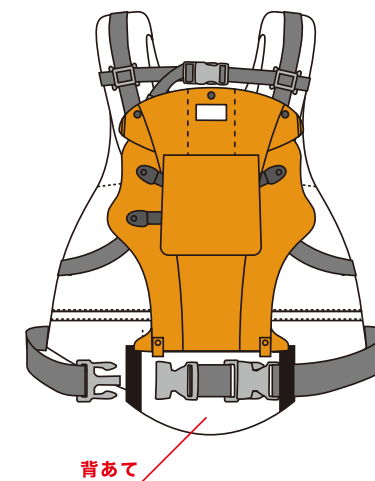
4. 接続テープをとめる

- ① 本体の接続ループにキャリアの接続テープを通す。
- ② 折り返して接続テープのスナップボタンをとめる。



5. 本体を裏返してキャリアを接続する

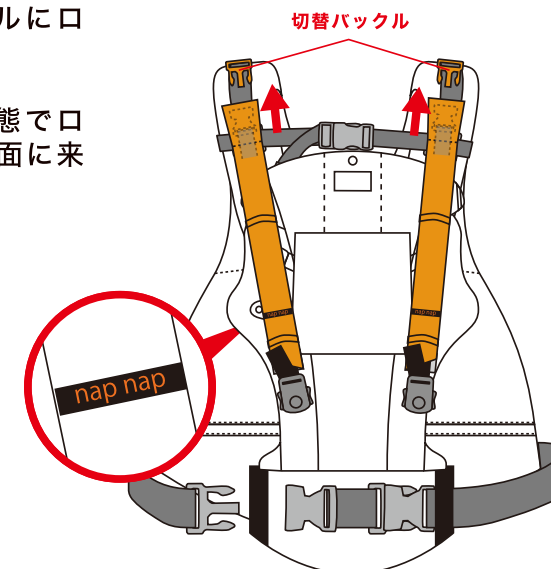
- ① 本体をぐるっと裏返して図の状態にする。
- ② 1つ目のキャリアと同じように背あてにキャリアを接続する。



6. ロゴ付ベルトをとめる

- ① 5の状態のまま本体の切替バックルにロゴ付ベルトを接続する。

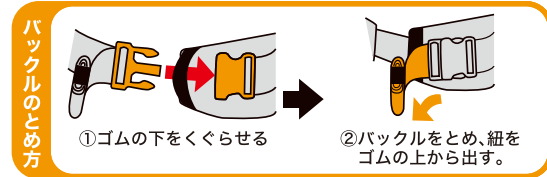
図のように背あてが表を向いた状態でロゴ付ベルトの [napnap] ロゴが正面に来る向きで切替えバックルにとめる。



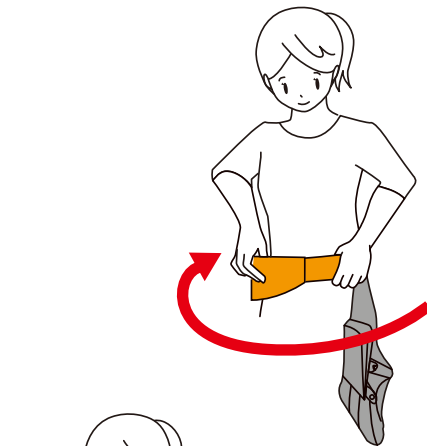
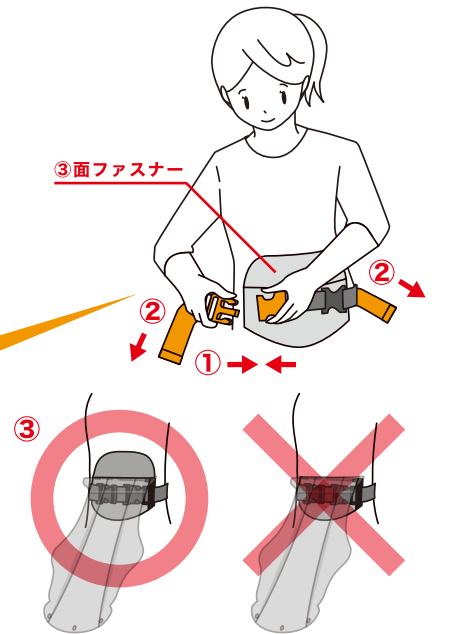
● おんぶ+抱っこ

7. 本体を装着する

- ① ウエストベルトをウエストにまきバックルをとめる。
- ② テープを締め、体にフィットするよう調節する。



- ③ 面ファスナー部分が背あての内側に巻き込まれないよう注意する。



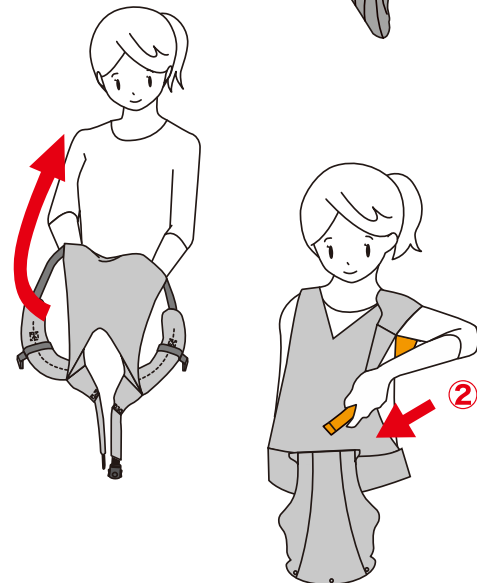
8. ウエストベルトをまわす

- ① ウエストベルトをまわし本体ベストが前に来るようにする。

9. ベストを着る

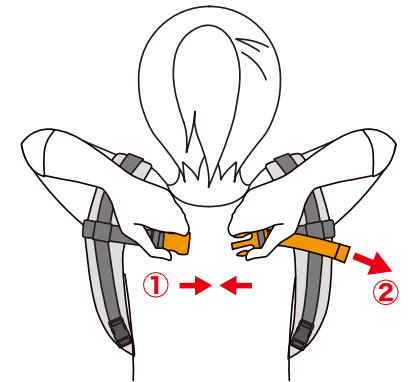
- ① 肩ベルトを肩に通し服を着るように本体を装着する。
- ② ベストが体にフィットするように肩ベルトの長さを調節する
後ほどおんぶに移行する時の為に少し緩いぐらいで調整しておく。

※肩ベルトの縫い目部分が肩の真上に来るぐらいの位置に調節してください。



10.ブリッジバックルをとめる

- ① 背中の後ろでブリッジバックルをとめる
- ② テープを引き長さを調節する



11. ロゴ付のベルトを背中側に回す

- ① ロゴ付のベルトは二人目のお子さまに使用するため邪魔にならないよう背中側に回しておく。



12. 接続バックルをとめる

- ① キャリーのバックルが2つついている方の上側のバックルに肩から出ている接続バックルをとめ、ベルトを軽く引いておく。



● おんぶ+抱っこ

13. 準備完了

- ① 位置を整えて準備完了



14. お子さまを抱き上げる

- ① 図のようにキャリアの外側から手を通しお子さまを抱きかかえに行く。



15. お子さまをキャリアにのせる

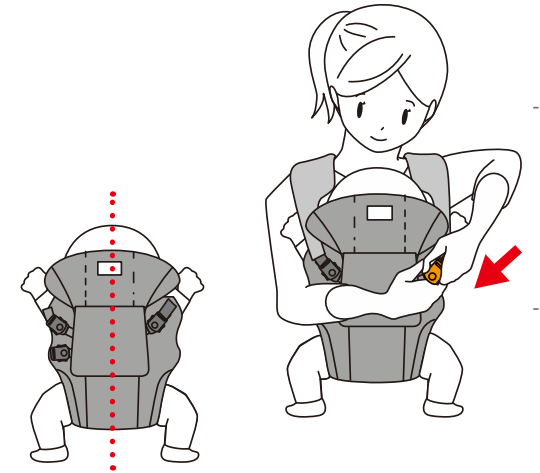
- ① お子さまの足を外に向けて引き抜くように足を出しキャリアの中にお子さまの体を入れる。



16. 接続バックルをとめる

- ① 接続ベルトをキャリアのキャリアバックルへとめる。

この時お子さまがキャリアのセンターに乗るように注意する



17. テープを調節する

- ① お尻を手で持ちあげながらバックルテープを引き、長さを調節する

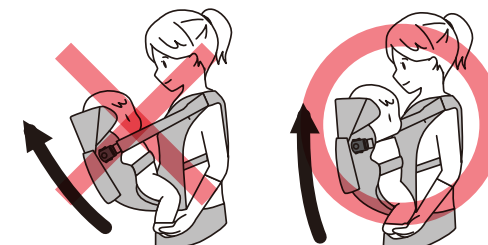
調節し辛いときはカバーをめくりあげ、テープを露出させてから引く。



18. お子さまの位置を整える

- ① 両側の接続ベルトを調節しお子さまの位置を整える

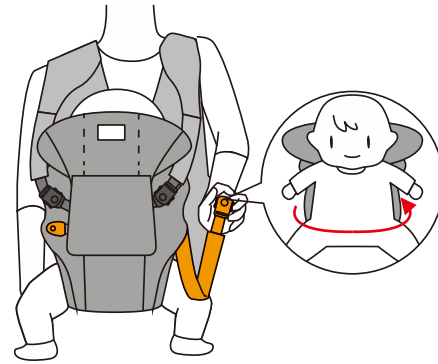
図のようにお子さまの体が外にそらないように注意する



● おんぶ+抱っこ

19. 落下防止ベルトを装着する

- ① 落下防止ベルトを手に取り、使用者のとお子さまの間を通すようにぐりりと回し落下防止バックルにつなぐ。
- ② 落下防止ベルトの長さを調節する。
- ③ お子さまの腰がキャリアにしっかりと固定されたことを確認する。



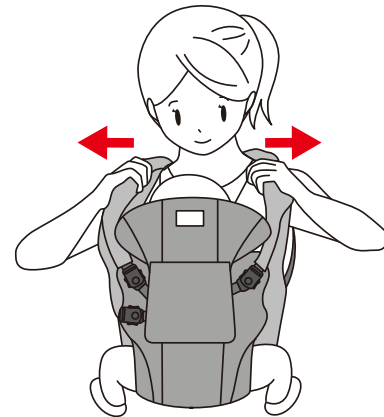
※おんぶの際お子さまののけぞりが心配な場合、
9ページを参考に【首かくん防止テープ】をとめてください。

20. おんぶに移行する

- ① 背中ブリッジバックルを外す。
- ② 肩ベルトをしっかりとつかんで肩からずらす。

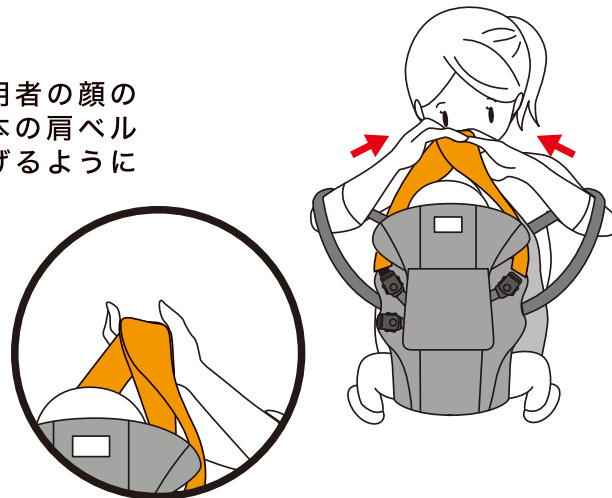
⚠ 注意：おんぶは慣れるまで難しい為、公式サイト
のふたご抱っこひも装着動画などを参考に
してください。

⚠ 警告：必ず安全な場所・低い位置で行ってくださ
い。不安定な場所ではお子さまが落下する
おそれがあります。



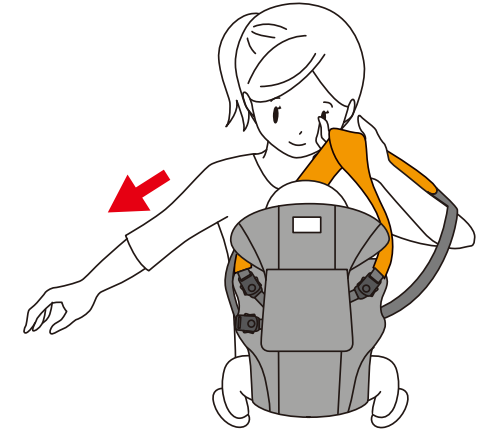
21. おんぶに移行する

- ① 肩からずらした肩ベルトを使用者の顔の前で合わせて持ち、左手で2本の肩ベルトをまとめて下からすくい上げるように掴む。



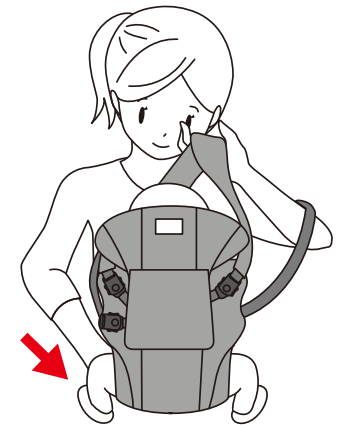
22. おんぶに移行する

- ① しっかりと肩ベルトを左手でつかんだら右手を肩ベルトから完全に抜く。



23. 抱っこひもをまわす

- ① 抱っこからおんぶに移行するために右手で腰ベルト付近を持つ。



24. 抱っこひもをまわす

- ① 腰ベルトと肩ベルトをゆっくりと左手背中方向に回していく



● おんぶ+抱っこ

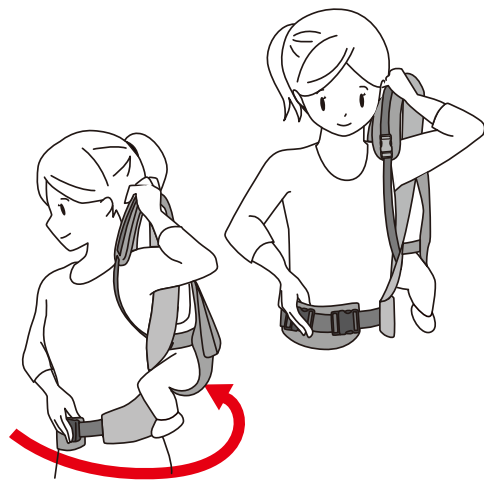
25. 抱っこひもをまわす

- ① 左手で掴んでいる肩ベルトと本体のベストの間に左ひじが入って行くように抱っこひもをまわすことで左肩に肩ベルトが自然にかかる。



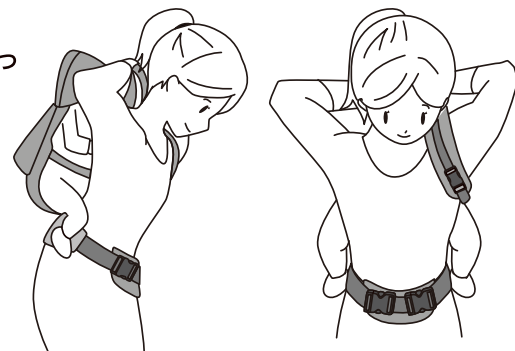
26. 抱っこひもをまわす

- ① お子さまが背中側に回ったらおんぶをするように前かがみになりながらお子さまを背中に乗せるイメージで維持する。



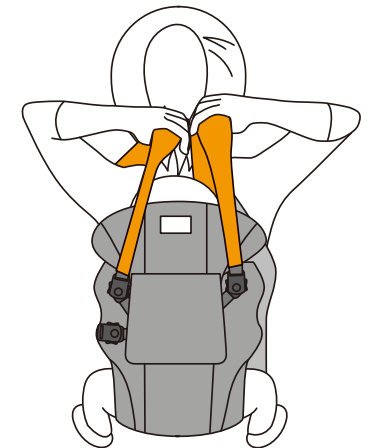
27. 肩ベルトをかける

- ① 左手でしっかりと2本の肩ベルトを持ったまま右手で右肩ベルトをつかむ。



28. 肩ベルトをかける

- ① しっかりと右手で右肩ベルトを掴んだらそのまま右肩に通す。



29. ブリッジバックルをとめる

- ① 胸元に来たブリッジバックルととめ、テープの長さをフィットするように調節する。
- ② お子さまの位置が低い場合、前かがみになりながらおんぶを背負い直す要領でお子さまのお尻位置を上げながら肩ベルトのテープを締める。



30. バックルカバー

- ① 付属のバックルカバーでブリッジバックルを覆い面ファスナーを貼り付ける。



● おんぶ+抱っこ

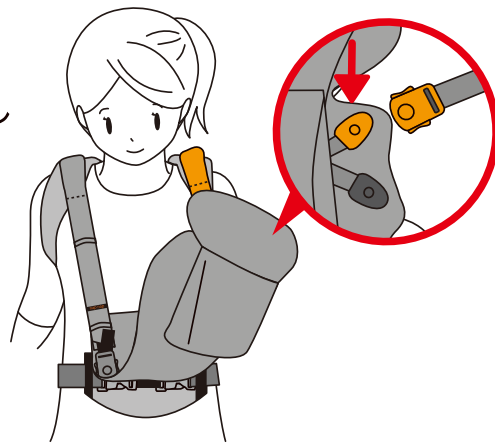
31. 二人目のお子さまの準備

- ① お子さまをしっかり背負えたらもう一人のお子さまを乗せるための準備をする。



32. ログ付ベルトをとめる

- ① 左肩のログ付ベルトをキャリアバックル上部にとめる



33. 二人目のお子さまを抱っこする

- ① 図のようにキャリアの外側から手を通しお子さまを抱きかかえに行く。



34. 二人目のお子さまを抱っこする

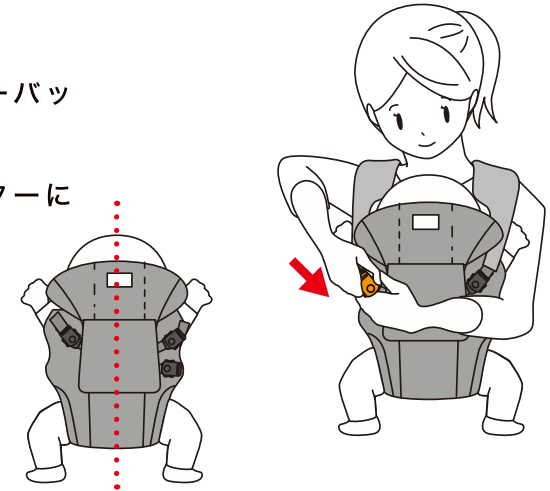
- ① お子さまの足を外に向けて引き抜くように足を出し、キャリアの中にお子さまの体を入れる。



35. ログ付ベルトをとめる

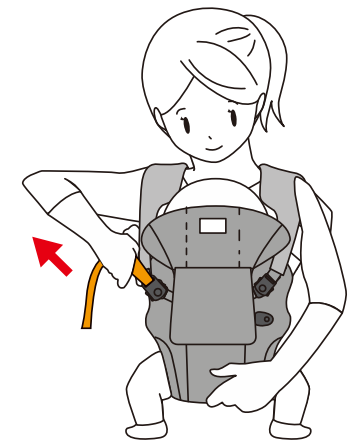
- ① ログ付ベルトをキャリアのキャリアバックルへとめる。

この時お子さまがキャリアのセンターに乗るように注意する



36. ベルトの長さを調節する

- ① ログ付ベルトの長さを調節する。



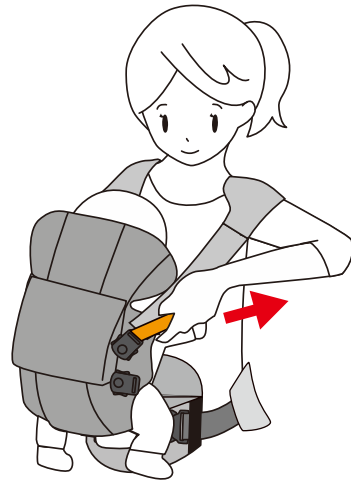
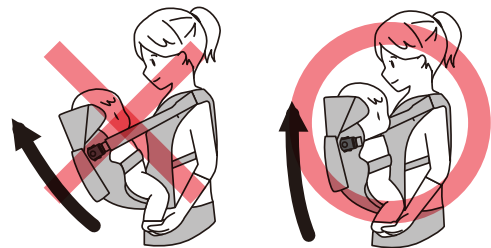
● おんぶ+抱っこ

37. 二人目のお子さまを抱っこする

① 逆側のロゴ付ベルトの長さを調節する

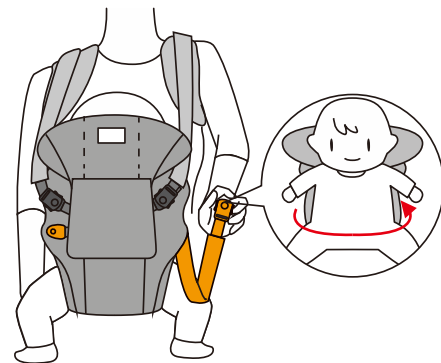
図のようにお子さまの体が外にそらないように注意する

ロゴ付ベルトは締め付けすぎると使用者の方に負担がかかり過ぎる場合があるので肩の痛みなどを感じた場合適度に緩めると良い。



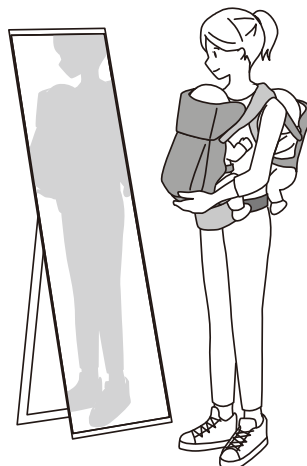
38. 落下防止ベルトを装着する

- ① 落下防止ベルトを手に取り、使用者のお子さまの間を通すようにぐるりと回し落下防止バックルにつなぐ。
- ② 落下防止ベルトの長さを調節する。
- ③ お子さまの腰がキャリアにしっかりと固定されたことを確認する。



39. おんぶ+抱っこ完成

- ① 痛みなどがいないか、お子さまの様子などを確認し問題が無ければ完成。

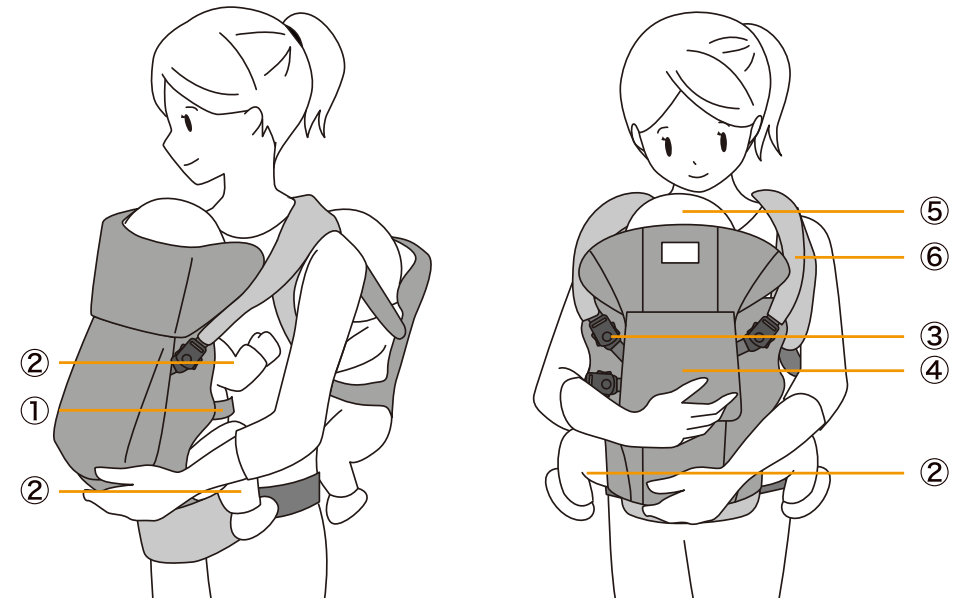


● おんぶ+抱っこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために鏡などに姿を映して状態を確認してください。

チェックポイント

- ① 落下防止ベルトがとまっている
- ② お子さまの両腕・両足が出ている。
- ③ 各部バックルがしっかりととまっている。
※ひもを引っ張って確認してください。
- ④ お子さまがキャリアの中心に乗っている。
- ⑤ 使用者の口がお子さまの額に届く高さになっている。
- ⑥ テープの長さが適切に調整されている。



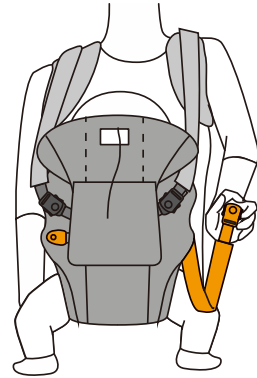
- 使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に授乳期のお母さまは、乳腺を圧迫するおそれがあります。
- 使用者からお子さまの顔が見えないので、定期的にお子さまの様子を確認してください。
- 正しく装着できていない場合はもう一度装着し、調節を行ってください。
- こまめに休憩をはさみながらご使用ください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● おんぶ+抱っこ・おろし方

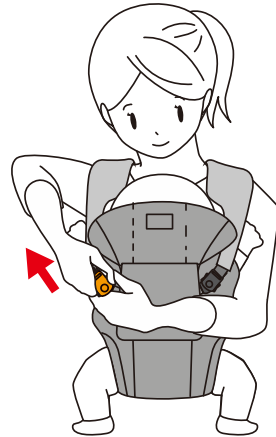
1. 落下防止ベルトを外す

- ① 前で抱いているお子さまの落下防止ベルトを外します。



2. バックルを外す

- ① ロゴ付バックルを片方外す。



3. お子さまをおろす

- ① お子さまを手で抱き上げて安全なところにおろす。



4. お子さまをおろす

- ① ベッドやソファなど、安全な場所に腰掛け、ブリッジバックルを外し肩ベルトをゆっくり外す。
- ② ゆっくりとベッドやソファなどに寝かすようにお子さまをおろす。

⚠ 警告：お子さまを抱っこひもからおろすときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

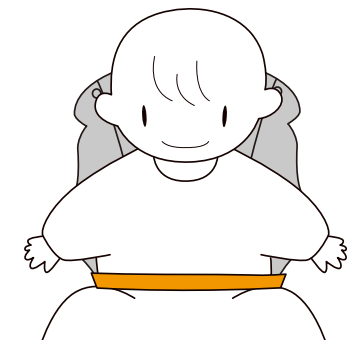
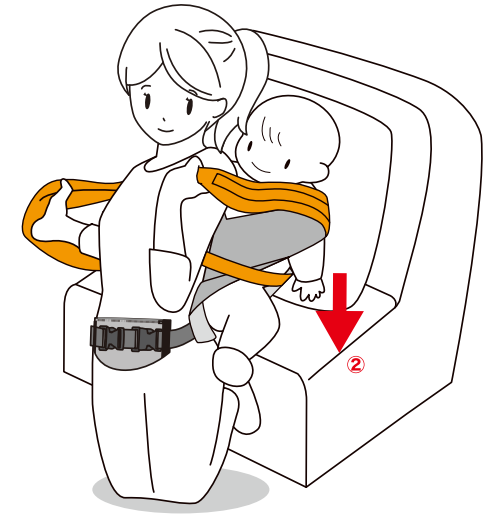
5. ウエストベルトを外す

- ① お子さまの安全を確認し、ウエストベルトを外す。

6. 落下防止ベルトを外す

- ① 落下防止ベルトを外しお子さまを抱っこひもから抱き上げて降ろす

⚠ 警告：抱っこひもをお子さまの体の下に敷いたままにしないでください。寝返りなどでバックルやひもが絡み、思わぬ事故につながる恐れがあります。



●ひとり抱っこ

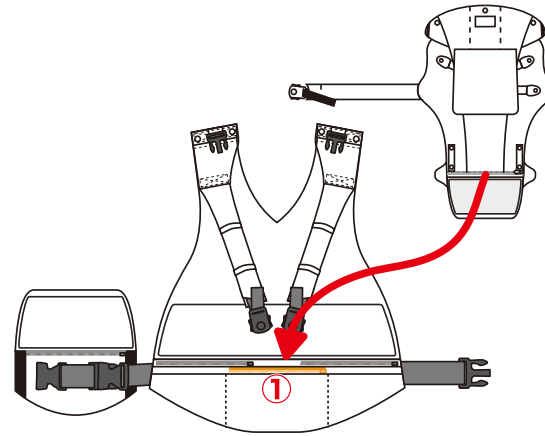
使用時期目安：抱っこ⇒首がすわった乳児期(約4ヶ月)～体重約20kg
(使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください)

1. ひとり抱っこの準備

① 本体を用意する

【ひとり抱っこ】では本体の接続ファスナー①にキャリアを接続する。

※キャリアの左右はどちらを使用しても問題ありません。

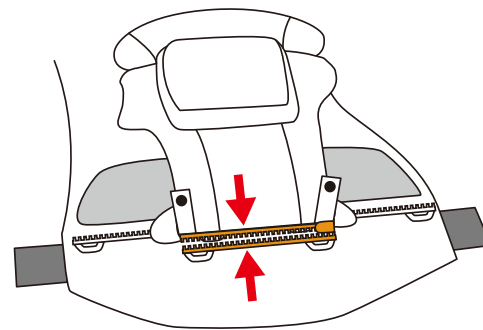


キャリアはファスナー・面ファスナー・接続テープの3つを接続することにより固定する。

3. ファスナー

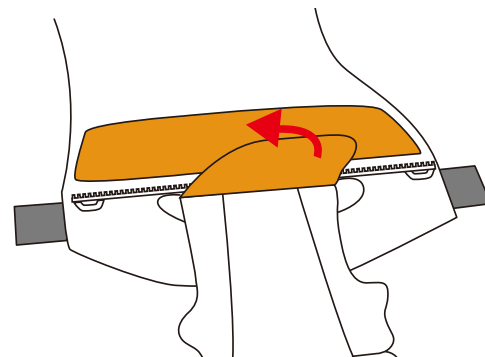
① 接続ファスナーをとめる。

※引手がしっかりと倒れていることを確認してください。



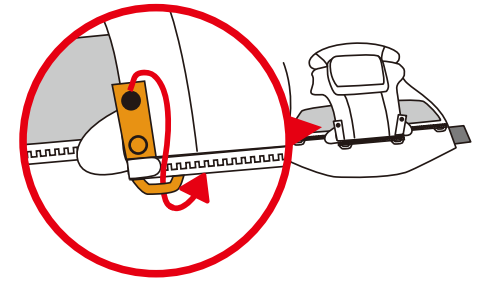
4. 面ファスナー

① 面ファスナーをしっかりと貼り付ける。



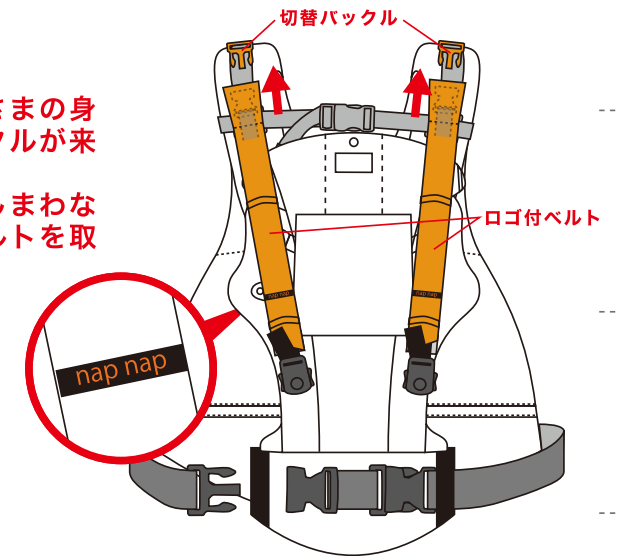
4. 接続テープをとめる

- ① 本体の接続ループにキャリアの接続テープを通す。
- ② 折り返して接続テープのスナップボタンをとめる。



5. 切替バックルについて

⚠警告：ひとり抱っこをした際、お子さまの身長により顔付近に切替えバックルが来ることがあります。顔などにバックルが刺さってしまうよう状況に応じてロゴ付ベルトを取り付けたうえでご使用ください。



6. 本体を装着する

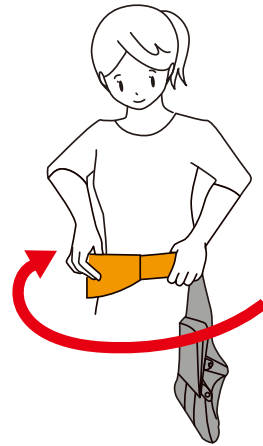
- ① ウエストベルトをウエストにまきバックルをとめる。
- ② テープを引き体にフィットするよう調節する。



●ひとり抱っこ

7. ウエストベルトをまわす

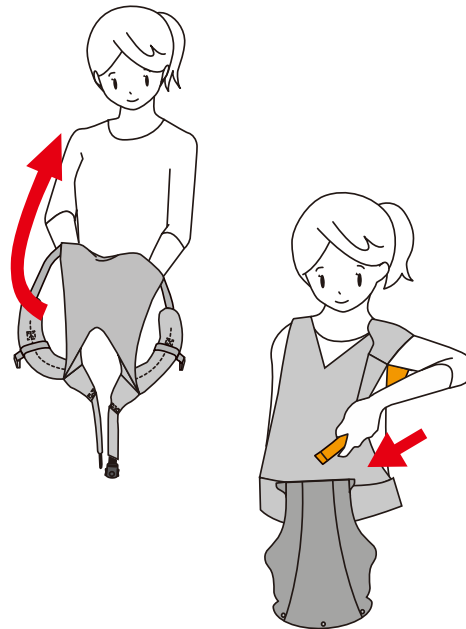
- ① ウエストベルトをまわし本体ベストが前に来るようにする。



8. ベストを着る

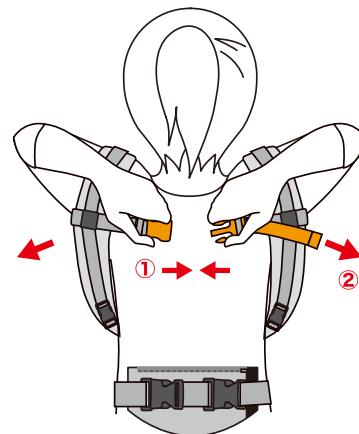
- ① 肩ベルトを肩に通し服を着るように本体を装着する。
- ② ベストが体にフィットするように肩ベルトの長さを調節する

※肩ベルトの縫い目部分が肩の真上に来るぐらいの位置に調節してください。



9.ブリッジバックルをとめる

- ① 背中の中でブリッジバックルをとめる
- ② テープを引き長さを調節する



10. 接続バックルをとめる

- ① キャリーのバックルが2つついている方の上側のバックルに肩から出ている接続バックルをとめ、ベルトを軽く引いておく。



11. 準備完了

- ① 位置を整えて準備完了



12. お子さまを抱き上げる

- ① 図のようにキャリーの外側から内側に向けて手を通すようにしながらお子さまを抱きかかえに行く



●ひとり抱っこ

13. お子さまをキャリアにのせる

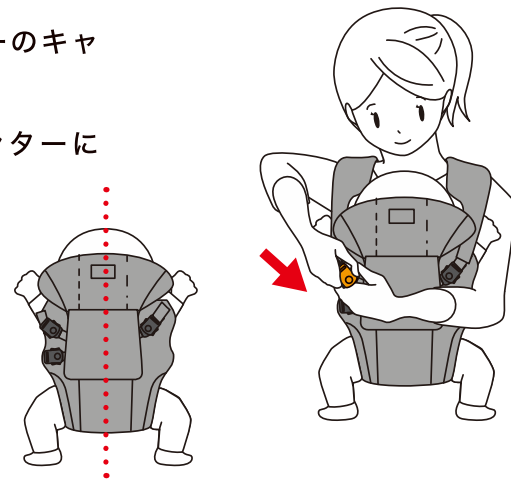
- ① お子さまの足を外に向けて引き抜くように足を出しキャリアの中にお子さまの体を入れる。



14. 接続バックルをとめる

- ① 接続ベルト（ロゴ無し）をキャリアのキャリアバックルへとめる。

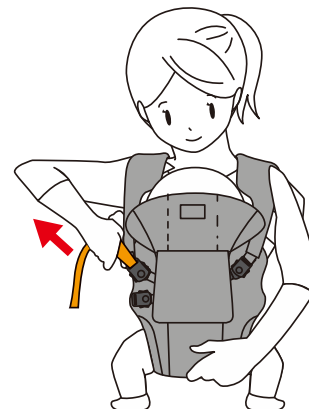
この時お子さまがキャリアのセンターに乗るように注意する



15. テープを調節する

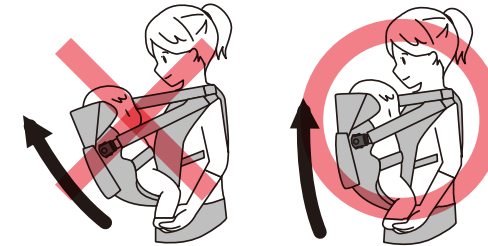
- ① お尻を持ち上げながらバックルのテープを引き長さを調節する

調節し辛いときはカバーをめくりあげ、テープを露出させてから引く。



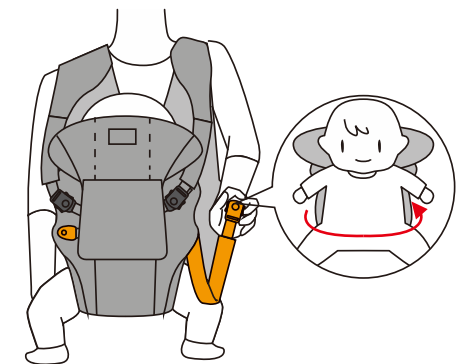
16. ベルトを調節する

- ① 接続ベルト（ロゴ無し）の長さを調節する
- ② 図のようにお子さまの体が外にそらないように注意する



17. 落下防止ベルトを装着する

- ① 落下防止ベルトを手に取り、使用者のとお子さまの間を通すようにぐるりと回し落下防止バックルにつなぐ。
- ② 落下防止ベルトの長さを調節する。
- ③ お子さまの腰がキャリアにしっかりと固定されたことを確認する。



18. ひとり抱っこの完成

- ① お子さまの位置を整えしっかりとベルトを調整したらひとり抱っこの完成。



● お手入れについて

日常のお手入れ

- [Redacted]

洗濯についてのご注意

- 洗濯の際はまとめゴムを外しバックルをとめ洗濯ネットに入れて30℃以下のぬるま湯か水で洗濯してください。 ※まとめゴムをとめたまま洗濯するとゴムが伸びます。
- 蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので使用しないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別々に洗濯してください。
- つけ置き洗いはしないでください。
- 乾燥機は使用しないでください。バックルや内部のウレタンなどの破損につながります。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 抱っこひもに汗や汚れなどがしみ込んだ状態のまま使用を続けた場合、生地劣化や色あせにつながるおそれがあります。適度に洗濯などを行ってください。
- 濡れた状態で使用した場合、衣類や肌に色移りすることがあります。



保守・点検

- ご使用の際には、製品のほつれ、きず、破れ、バックルなど部品の破損がないか確認してください。

⚠ 注意

上記を一か所でも見つけた時は、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると故障や事故につながるおそれがあります。

保証書

商品名		ロット番号	<small>※抱っこひも本体の洗濯表示上部に記載されている英数字</small>
お買い上げ年月日	年	月	日
保証期間	お買い上げ日より1年間（但し保証基準による）		
お客様情報	ご住所 〒 お名前	TEL	
販売店	ご住所 〒 お名前	TEL	

保証規定

- ① 一度ご使用になった製品は原則としてお取替えできません。
- ② 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態にて、万一故障した場合は無償修理をいたします。初期不良以外の場合は送料をご負担いただきます。
- ③ 保証期間中でも次のような場合には保証の対象外になります。
 - プラスチック部品の自然劣化による変色
 - 縫製品の傷や破れ、変色
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 本書にお買い上げ日、お客様のお名前、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合
 - 修理の場合に要する運賃などの諸経費
 - 使用済みの本製品をご家族やご友人、知人などから譲り受けた場合
- ④ 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。
- ⑤ 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
- ⑥ 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。

- お買い上げ後、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名をただちにご記入ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社お客様サポートセンターに直接お問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ

株式会社 ナップナップ 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 三ノ輪ビル 7 階
TEL:0120-900-720 napnap フリーダイヤル 受付時間：9：00～18：00（土・日・祝日を除く）